

会議録

会議の名称	平成24年度 第7回西東京市スポーツ推進審議会
開催日時	平成24年10月10日（水曜日） 19時00分から21時00分まで
開催場所	保谷庁舎4階 第3会議室
出席者	委員：北岡会長、内田委員、村上委員、池上委員、林委員、飯塚委員、岡田委員、姉松委員 欠席：指田委員、諸岡委員 事務局：等々力課長、後藤係長、加藤主任
議題	1 西東京市スポーツ推進計画策定に伴う市民意識調査におけるアンケート内容について 2 その他
報告事項	1 その他
会議資料の名称	・市民意識調査票の構成について ・小生意識調査票の構成について ・中高生意識調査票の構成について ・団体向け意識調査票の構成について ・西東京市スポーツ推進計画策定に伴う市民意識調査に伴う市民意識調査について（当日配布）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
1 配布資料の確認 2 議題 (1) 西東京市スポーツ推進計画策定に伴う市民意識調査におけるアンケート内容について ○事務局： 前回内容に2点ほど変更がある。1点目は、調査対象児童生徒アンケートの高校2年生の欄、前は各高校とも4クラス、計12クラスの480名で行う予定であったが、田無工業高校が2年生、全5クラスなので、保谷高校、田無高校もクラスを合わせて5クラス、計15クラスの541名で調査を行う。児童生徒合わせて、61名ほど増えて1533名になった。 2点目は、児童生徒アンケート調査票配布、回収方法が、教育委員会を通じて交換便対応としていたが、数量が多く対応ができないとのことで、委託業者から各学校に郵送し、回収は各学校から着払いにより返送してもらう。高校に関しては、訪問し直接内容説明をして回収は、着払いにより返送してもらうこととなる。	

○会長：

ただいま、事務局から説明があったが御意見や御質問はあるか。

○委員：

(質問・意見なし。)

○事務局：

前回、一般市民アンケートについての御意見をいただき、検討の結果アンケートが完成した。本日は、児童生徒、団体アンケート内容について御意見をいただきたい。

事前配布資料の小学生、中高生、団体向けアンケート内容について説明。

前回、御意見いただいた部分に関しての、検討経緯の報告。

新たに追加となった質問の説明。(総合型地域スポーツクラブ)

○会長：

ただいま、事務局から説明があったが御意見や御質問はあるか。

○委員：

中高生向けの定期的な健康診査を受けるという質問は必要か。

○事務局：

検討させていただく。

○委員：

問4であてはまるものすべて、とあるが選択肢が一つしかない。

問14で○は1つでとあるが、つけにくくはないか。

○事務局：

問14は、複数回答にすると焦点がぶれるので、あえて1つにしている。

○会長：

1つの回答ということでよいか。

○委員：

(異議なし。)

○委員：

文字の訂正が数か所ある。

中高校生アンケートについて。

性別記入欄について、1男、2女、とあるが、番号を付けるのはよくないのではないか。

問6、スポーツ観戦が好きか嫌いかについて、いいえの回答の場合はないのか。

問7、スポーツの関わり方に満足しているかの問いで、何を基準に答えるのか。

問8、授業以外でとは、部活は入るのか。わかりにくいので、整理した上で、種目について、検討してもらいたい。

問10、理由を問うのはどうなのか。1の「肥満防止、病気予防」は後半の回答でもよいのではないか。8の「鍛錬」を理解できるか。

問11回答で、山、川、海は、西東京市には不向きではないか。

問12回答に、「ない」がないと未回答なのか、非該当なのかわからない。

問12回答で、文理台公園は、小学生は文化事業で利用することが多い。

問16のニュースポーツがわからない。

問17、18で、問12と同じで「ない」という回答は必要ないか。

問19で、あればいいと思いますか。の問いに必要という回答の選択肢はおかしい。

問21で、総合型地域スポーツクラブの説明が唐突に出てくる。

問22の地域型スポーツクラブの「育成」について何も知らないので、答えられないのではないか。

○委員：

問8で、競技的スポーツで一般的なもの「その他」に入っている。バスケットボール、バドミントンは、項目を作るべきではないか。軽い運動の中にはいっているものに、競技性があるものがある。

○委員：

他の地域との比較する項目があるのか。

○事務局：

指摘された箇所を、検討していく。2点ほど説明。1点目は、「ない」という選択を追加するかについては、「ない」を評価するのは難しく、「ない」にも○がないときには、どう解釈してよいか、かつ選択肢も増えてしまう。

問8については、総務省が実施している国民向け意識調査と選択肢を合わせている。競技の項目の変更は可能だが、区分けの枠組みは同じ形式にして、比較をしたいと考えている。

他の地域との比較というよりも、前回との比較が重要な役割を持っている。問7、21、22は前回の調査でも尋ねており、計画作成後、どのような変化があったのか定点観測の目的がある。指摘があった表現については工夫をする。

問22の総合型地域スポーツクラブの説明は、紙面の都合である。

○委員：

高校生についてですが、市民以外の生徒は分析から外さないのか。

○事務局：

高校生約500名のサンプルなので、影響はないと思っている。工夫して集計していく。

○委員：

問6で、小学生がやらないであろうスポーツについては、読むのにも時間がかかるので、削除してはどうか。わからないスポーツに教員が対応しなければならない。

○委員：

実施の前に、試しにやってもらうのはどうか。

○委員：

運動している自覚がない人もいる。回答に犬の散歩や毎日の拭き掃除など、具体的に明記したほうが、運動を習慣にしている人の割合が増えるのではないか。

○委員：

団体の意識調査の、人数の区分けで9名以下の次が10～49名は、かなり幅があるのではないかな。

○会長：

他に、御意見や御質問はあるか。

○委員：

(意見・質問なし。)

○会長：

本日の意見、質問を検討してもらい、修正して作成を任せるということで、よろしいかな。

○委員：

(異議なし。)

○事務局：

前回、今回の御指摘、御意見をよく精査して作っていききたい。

○会長：

他に御意見や御質問はあるか。

○委員：

(意見、質問なし。)

(2) その他

○事務局：

なし。

3報告事項

○事務局：

審議会委員の内田さんが、10月5日に文部科学省にて、平成24年度生涯スポーツ功労者文部科学大臣賞を受けられたことを報告する。

○会長：

本日予定されている議題は全て終了した。
以上。